

フロセミド錠 10mg 「SN」
フロセミド錠 20mg 「SN」
フロセミド錠 40mg 「SN」

【この薬は？】

販売名	フロセミド錠 10mg 「SN」 Furosemide Tablets 10mg 「SN」	フロセミド錠 20mg 「SN」 Furosemide Tablets 20mg 「SN」	フロセミド錠 40mg 「SN」 Furosemide Tablets 40mg 「SN」
一般名	フロセミド Furosemide		
含有量 (1錠中)	10mg	20mg	40mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、利尿降圧剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、腎尿細管に作用して尿量を増やして循環血流量を減少させることなどにより血圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症（本態性、腎性等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症、末梢血管障害による浮腫、尿路結石排出促進

- ・この薬は、体調がよくなったと自分の判断で使用を止めたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。指示どおりに飲むことが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・無尿の人
- ・肝性昏睡の人
- ・体液（血液、尿など）中のナトリウム、カリウムが明らかに低下している人
- ・過去にスルホンアミド誘導体に対し過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・進行した肝硬変のある人
- ・重篤な冠硬化症または脳動脈硬化症のある人
- ・腎臓に重篤な障害のある人
- ・肝臓に障害のある人
- ・本人または両親、兄弟に痛風、糖尿病のある人
- ・下痢・嘔吐のある人
- ・手術を予定している人
- ・ジギタリス剤、糖質副腎皮質ホルモン剤、ACTH またはグリチルリチン製剤を使用している人
- ・減塩療法中の人
- ・高齢の人
- ・小児
- ・全身性エリテマトーデスの人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	フロセミド錠 10mg 「SN」	フロセミド錠 20mg 「SN」	フロセミド錠 40mg 「SN」
一回量	4～8 錠	2～4 錠	1～2 錠
	(フロセミドとして) 40～80mg		
飲む回数	1 日 1 回を毎日または 1 日おき		

・夜間トイレに行く回数が増えるのを避けるため、昼間に飲むことが望ましいです。

・腎機能不全等の場合はさらに大量に用いることもあります。

・悪性高血圧の場合は、他の利尿剤と併用されます。

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合、血圧低下（脱力感、立ちくらみ、めまい）血栓症（血を吐く、吐き気、嘔吐、胸の痛み、胸をしめつけられる感じ、胸を強く押さえつけた感じ、激しい腹痛、腹がはる、足の激しい痛み、出血、知覚のまひ）、急性腎不全（からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはればつたい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る）、譫妄（せんもう）状態（意識の混乱、自分のいる場所や時間、自分や人の名前などがわからなくなる、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる）などがあらわれる可能性があります。これらの症状が同じような時期にあらわれた場合は、使用を中止し、直ちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・長く飲み続ける場合、電解質失調（体液中のナトリウムやカリウムのバランスが崩れること）になることがあるので定期的に血液検査が行われます。
- ・めまい、ふらつきなどがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械を操作する際には注意してください。
- ・妊娠初期または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	めまい、鼻血、歯ぐきの出血、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、息切れ、動悸、あおあざができる、出血が止まりにくい
汎血球減少症 はんけつきゅうげんしょうしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
赤芽球癆 せきがきゅうろう	からだがだるい、めまい、息切れ、動悸










重大な副作用	主な自覚症状
水疱性類天疱瘡 すいほうせいるいてんぼうそう	水ぶくれを伴う発疹
難聴 なんちょう	耳が聞こえにくい、耳鳴り、声や音がきこえない
中毒性表皮壊死融解症 (TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (テン)	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、発熱、食欲不振、関節の痛み
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
多形紅斑 たけいこうはん	関節の痛み、発熱、発疹やみずぶくれができる
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほっしんせいのうほうしょう	からだがだるい、高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ (小膿疱) が出る、食欲不振
心室性不整脈 (トルサード・ド・ポアント) しんしつせいふせいみやく	意識がなくなる、胸の痛み、胸部異和感、動悸、脈が速くなる、気を失う
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	関節の痛み、発熱、頭痛、膨れあがる感じ、血尿
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	から咳、息苦しい、息切れ、発熱

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、発熱、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ(水疱)、高熱
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、意識がなくなる、頭痛
顔面	血の気が引く、ほてり、鼻血
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ
耳	耳鳴り、耳が聞こえにくい、声や音がきこえない
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、歯ぐきの出血、のどの痛み、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、から咳
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、階段や坂を上る時の動悸や息切れ、胸の痛み、胸部異和感
腹部	食欲不振、膨れあがる感じ
手・足	関節の痛み、脈が速くなる

部位	自覚症状
皮膚	じんましん、あおあざができる、皮下出血、水ぶくれを伴う発疹、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、発疹やみずぶくれができる、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る
尿	血尿
その他	判断力の低下、出血が止まりにくい、出血しやすい、陰部の痛み、気を失う

【この薬の形は？】

販売名	フロセミド錠 10mg 「SN」	フロセミド錠 20mg 「SN」	フロセミド錠 40mg 「SN」
形状	フィルムコーティング錠   	フィルムコーティング錠   	フィルムコーティング錠   
直径	6.1mm	6.1mm	7.6mm
厚さ	3.1mm	3.1mm	3.8mm
重さ	95mg	97mg	191mg
色	微赤色	白色	白色
識別コード	SK11	SK12	SK13

【この薬に含まれているのは？】

販売名	フロセミド錠 10mg 「SN」	フロセミド錠 20mg 「SN」	フロセミド錠 40mg 「SN」
有効成分	フロセミド		
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、部分アルファ化デンプン、メチルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン、三二酸化鉄、カルナウバロウ	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、部分アルファ化デンプン、アルファ化デンプン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール 6000、カルナウバロウ	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 シオノケミカル株式会社 (<http://www.shiono.co.jp>)

学術情報本部

電話番号：03-5202-0213

受付時間：9：00～18：00

(土・日・祝日・その他当社の休業日を除く)